

1 人口と都市について，下の問1～問4に答えよ。

問1 人口動態の変化には地域差がみられる。次の図1は，いくつかの国における人口増加率の推移について示したものであり，図1中のア～エは，アメリカ合衆国，ナイジェリア，フランス，ポーランドのいずれかである。ア～エに該当する国名をそれぞれ記せ。

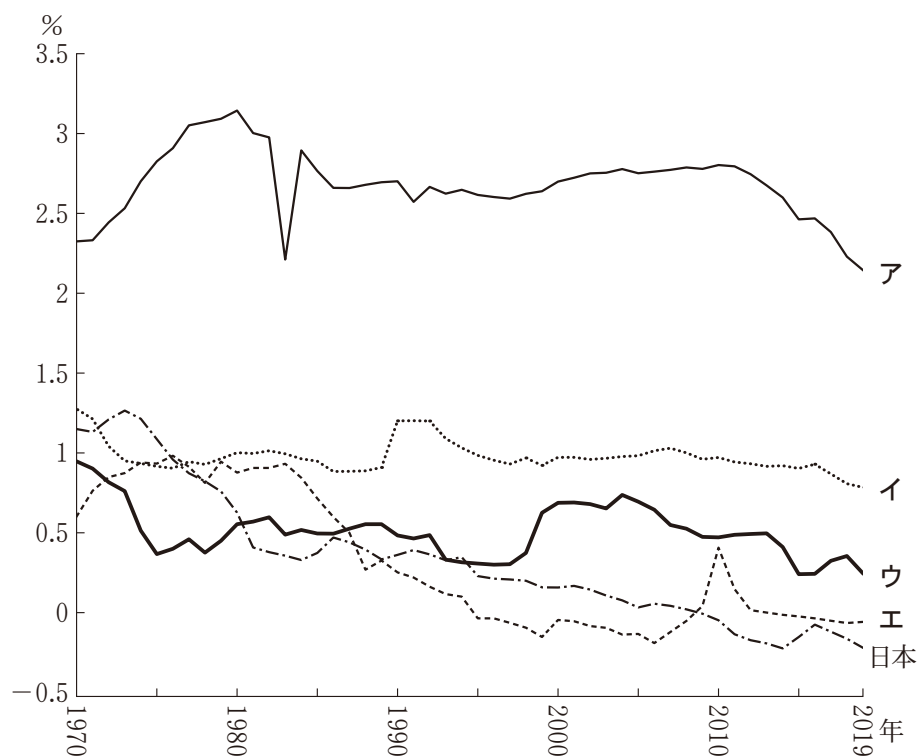


図1

World Population Prospects により作成。

問 2 次の図 2 は、東京都特別区部*における人口の社会増減の推移を示したものである。1964 年以降の東京都特別区部における人口の社会増減の特徴とその背景について、次の 3 語をすべて用いて、160～200 字で説明せよ。なお、語を使用する回数・順番は問わないが、語を最初に使用する箇所には下線を引くこと。

*東京 23 区の範囲。

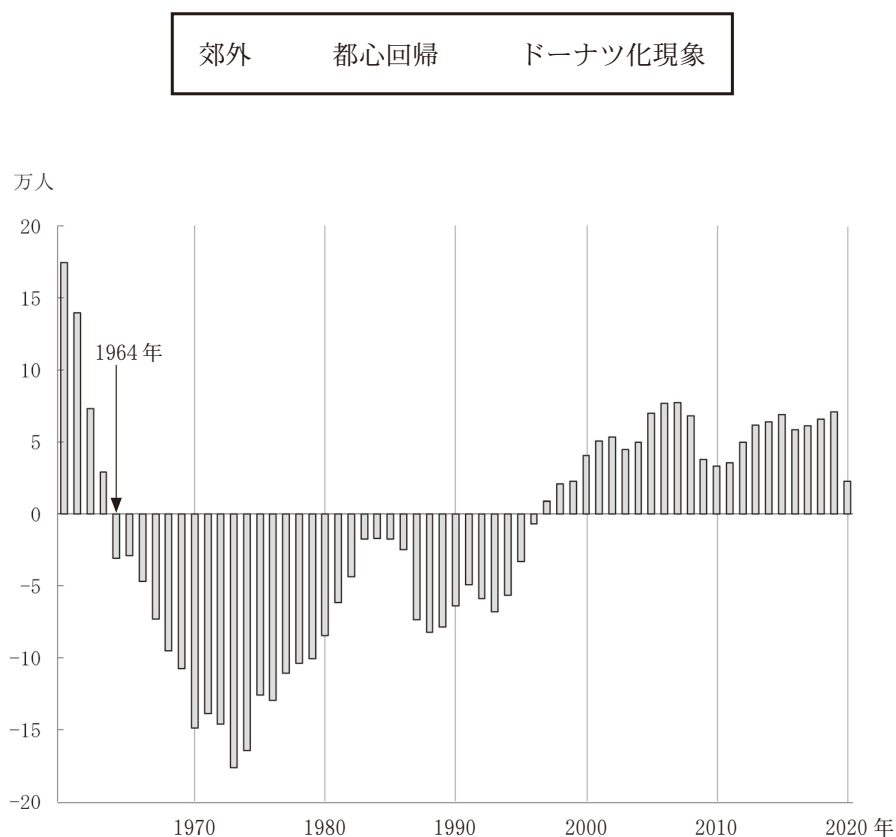


図 2

住民基本台帳人口移動報告により作成。

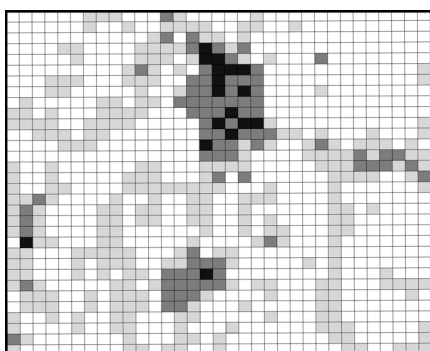
問 3 近年、大都市圏外縁部や地方圏において都市のスポンジ化が指摘されるようになってきている。都市のスポンジ化とはどのような現象か、40～60 字で説明せよ。

問 4 高校生のユヅキさんは、GIS を用いて、小学校周辺の人口について分析を行った。次の資料 1 は、ユヅキさんが分析に用いたデータ、条件、GIS の機能について説明したものである。また、後の図 3 は資料 1 に示されたデータ、条件、GIS の機能を使用してユヅキさんが作成した地図である。これに関して、次の問いに答えよ。

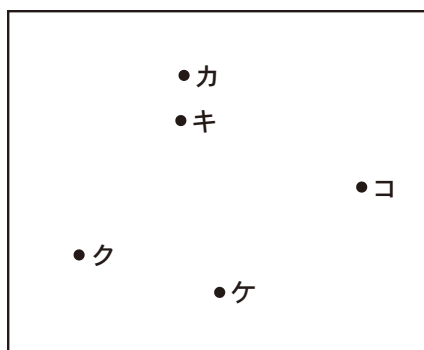
資料 1

< データ >

人口の分布



小学校の位置

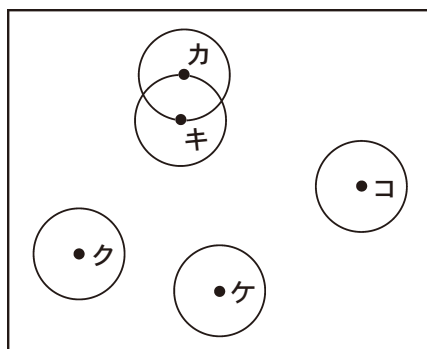


< 条件 >

- ・ 小学校から直線距離で 1 km 以内を徒歩圏内とする。

< GIS の機能 >

小学校から半径 1 km の円を作成



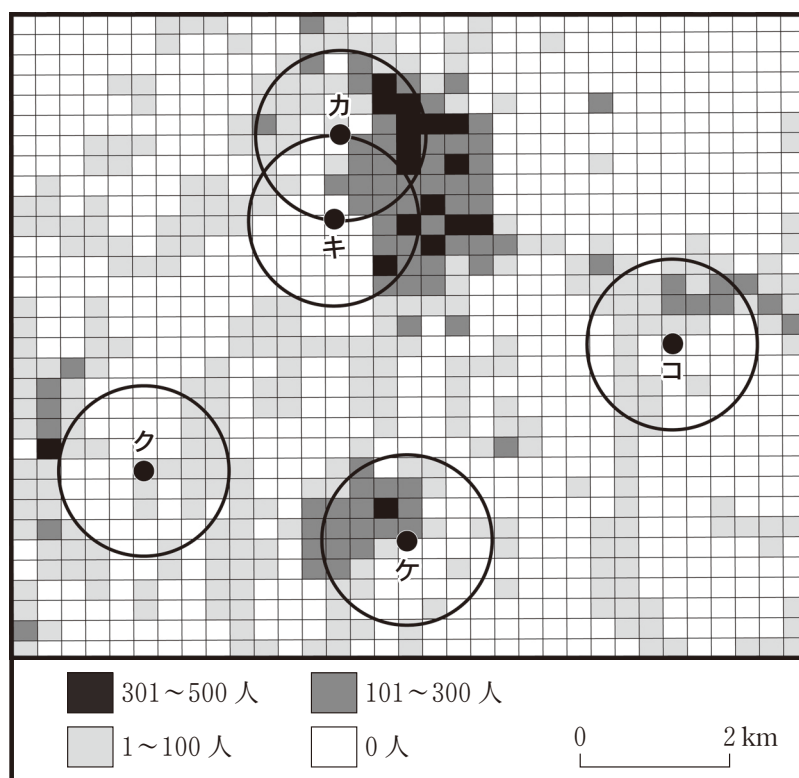


図 3

各メッシュ内では人口は均一に分布するものとする。

- (1) ユヅキさんは、GIS を用いて、各小学校の徒歩圏内の人口を計算した。その結果が 1,000 人以下となった可能性のある小学校を、カ～コのうちから全て選べ。
- (2) ユヅキさんは、GIS を用いて、各小学校の 2027 年度の児童数を推計することにした。そのために必要なデータとしてもっとも適当なものを、次のサ～ソのうちから 2 つ選べ。

- サ 小学校の校区の範囲
- シ 中学校の位置
- ス 年齢別人口の分布
- セ 標高
- ソ 老年人口の分布

2 国境を越えて商品やサービスを売買する国際的な活動である貿易に関して、下の問 1～問 4 に答えよ。

問 1 国民総生産(GDP)に対する貿易額の比率で計算される指標である貿易依存度は、国によって大きく異なる。次の表 1 はアメリカ合衆国、シンガポール、ベトナム、ポルトガルについて、貿易依存度を示したものである。ア～エに該当する国名をそれぞれ記せ。

表 1

(単位：％)

		ア	イ	ウ	日本	エ
貿易依存度	輸出	95.0	81.6	29.2	17.0	7.4
	輸入	84.4	75.1	39.5	18.6	11.6

統計年次は 2023 年。『世界国勢図会 2024/25』により作成。

問 2 近年、サービス貿易の重要性が高まってきている。次の表 2 はアメリカ合衆国、中国*、ドイツにおける、いくつかのサービス貿易に関して輸出額(受取額)から輸入額(支払額)を引いた金額を示したものである。カ～クに該当する国名をそれぞれ記せ。

*中国の数値には、台湾、ホンコン、マカオを含まない。

表 2

(単位：百万ドル)

	カ	日 本	キ	ク
金融サービス	655	4,573	9,962	112,768
知的財産権等使用料	－31,746	22,135	22,927	86,904
保険・年金サービス	－9,245	－16,740	5,845	－39,620
旅 行	－171,669	25,691	－74,651	30,457

統計年次は 2023 年。『世界国勢図会 2024/25』により作成。

問 3 原料や製品を適正な価格で継続的に購入する取り組みであるフェアトレードが、近年、注目されている。その背景について、次の3語のうち2語を用いて、60～80字で説明せよ。なお、語を使用する回数・順番は問わないが、語を最初に使用する箇所には下線を引くこと。

経済開放政策

先進国

モノカルチャー経済

問 4 現代世界における日本の国土像を理解して持続可能な成長を維持するためには、貿易構造の変化を正しくとらえることが重要である。次の図1は1985年以降の日本における貿易収支の推移を示したものである。2010年代以降に貿易収支が黒字から赤字傾向に変化した理由を、次の4語を用いて、120～160字で述べよ。なお、語を使用する回数・順番は問わないが、語を最初に使用する箇所には下線を引くこと。

国際競争力

サプライチェーン

資源価格の高騰

東日本大震災

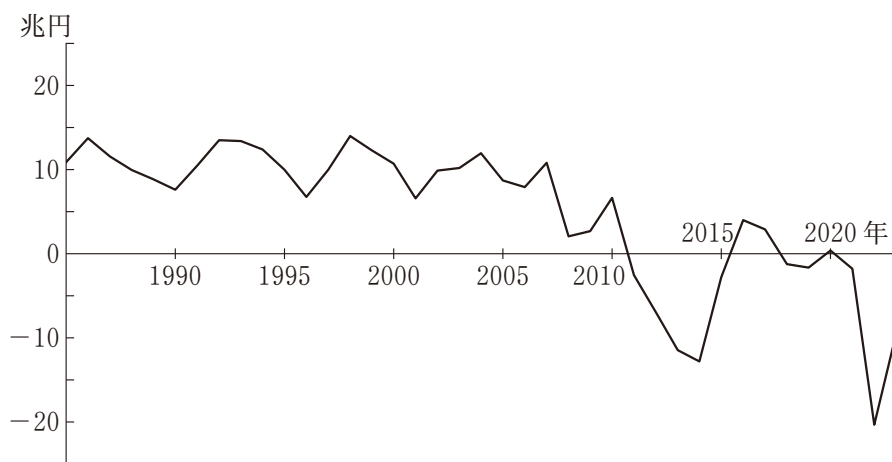


図 1

財務省貿易統計により作成。

3

ラテンアメリカに関して、下の問1～問4に答えよ。

問1 次の図1はラテンアメリカの地図を示したものであり、図2中のア～エは、図1中の地点a～dにおける最暖月および最寒月の月平均気温を示したものである。地点a～dに該当するものを、ア～エの中からそれぞれ選べ。



図1

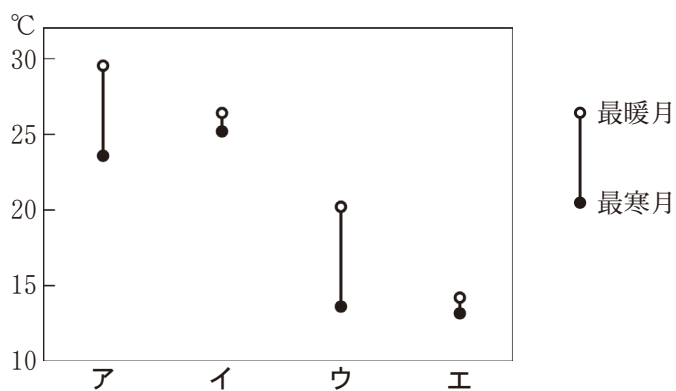


図2

気象庁の資料により作成。

問 2 図 1 中の G には下の図 3 のような森林が見られる。このような森林は、主に G の地域と同様の気候帯にみられ、近年、エビの養殖池の開発などによる森林破壊が進んでいる。生物多様性を保全する観点からこのような森林の保護が重要とされる理由を、水生生物の生態系に着目しながら、次の 3 語をすべて用いて 70～90 字で述べよ。なお、語を使用する回数・順番は問わないが、語を最初に使用する箇所には下線を引くこと。

海岸侵食	浄化	干潟
------	----	----



図 3

問 3 次の図 4 は、ラテンアメリカにおけるいくつかの作物の生産量上位 15 か国について、その生産量を示したものであり、カ～ケは、キャッサバ、ジャガイモ、大豆、トウモロコシのいずれかである。カ～ケに該当する作物の名称をそれぞれ記せ。

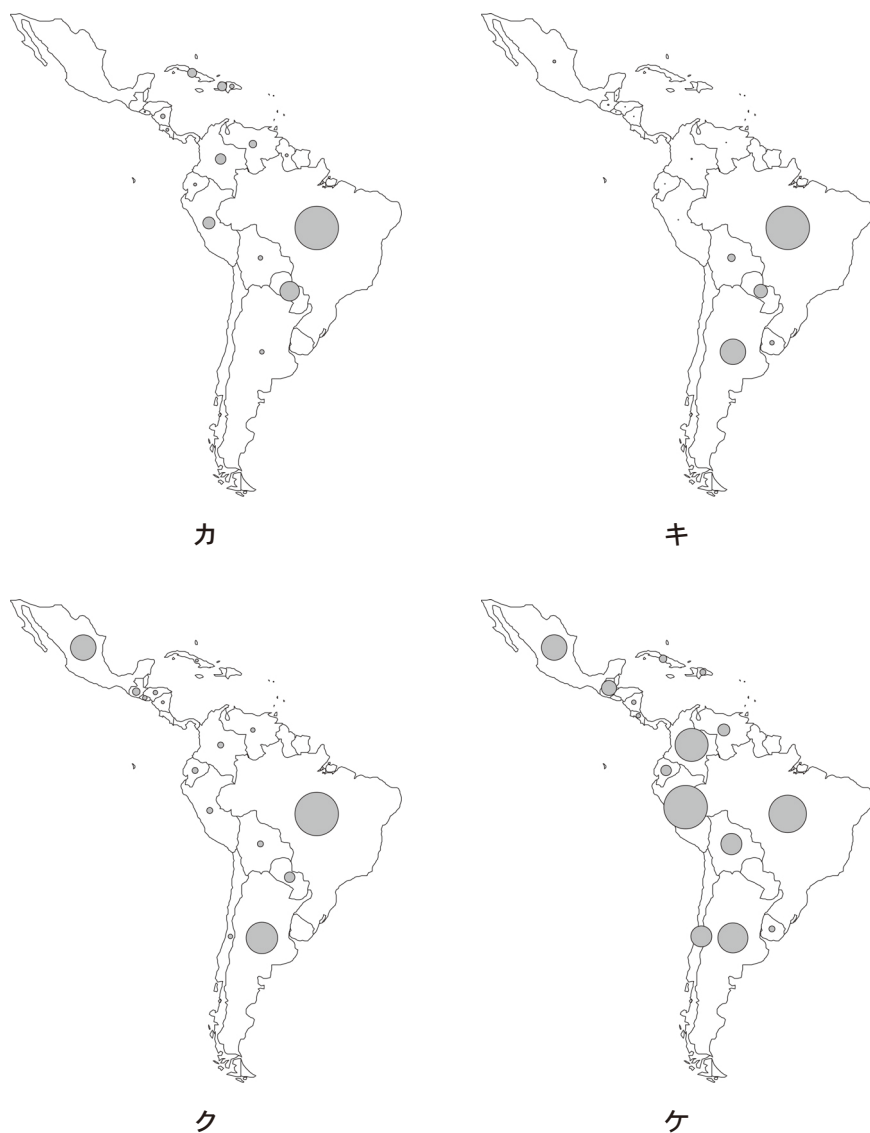


図 4

1 位の国の生産量を示す円は同じ大きさに揃えてある。2 位以下の国は 1 位の国の生産量との比率に応じて示した。

統計年次は 2018 年。FAOSTAT により作成。

問 4 次の表 1 は電気・電子産業に不可欠な金属資源について、産出量の上位 5 か国を示したものであり、X～Z は、アルゼンチン、チリ、ペルーのいずれかである。X～Z に該当する国名をそれぞれ記せ。

表 1

順 位	すず鉱	銅 鉱	リチウム
1 位	中 国	(X)	オーストラリア
2 位	インドネシア	(Y)	(X)
3 位	ミャンマー	中 国	中 国
4 位	(Y)	コンゴ民主共和国	(Z)
5 位	ブラジル	アメリカ合衆国	カナダ

中国には、台湾の数値を含まない。
統計年次は 2018 年。USGS の資料により作成。